

支部協だより ちやうがんじゅう

第222号



楽しく活動し、軍事強化に

断固反対して行こう

会長 渡嘉敷 直久

10月18日(日)に第25回定期総会がマリエールオーネバインで開催される。

ここは2018年の総会会場となつたところで、会場に集まり対面で懇親会ができるのは4年ぶり、活発に議論して明日へのパワーにしよう。

多くの会員の参加でグランドゴルフを楽しんだり、辺野古新基地建設断念を求める国会請願署名の活動に力強く取り組むなど、退職者の仲間の力量を大いに發揮してきた。

北部地区協、宮古地区協、八重山地区協は地域でしっかりと活動して毎日を楽しんでいます。各支部協はグランドゴルフ大会などの後に総会を開催して役員体制も確立し、新メンバーで和気あいあい日常活動を進めている。

タフであれ！積極的に社会参加を

喜納 政人



敬老の日の翌日、9月19日東京文京シビックホールにて1500人規模で日本退職者連合主催による2023全国高齢者集会が開催された。

今や日本はぶつちぎりで世界一位の高齢化社会だ。人口の約30%が65歳以上で、その

さて、八重山地区協の総会に参加して、地元の会員の方々と話し合い、案内して貰つたがミサイル基地問題など厳しいものがあり、八重山だけの問題ではないと痛感した。宮古では公道を自衛隊が行進訓練するなど戦場を思われる状況に怒りと恐怖を感じる。請願署名を取り組んだ辺野古新基地建設は沖縄県試算

沿い否定したが、玉城デニー知事は国連で沖縄の主張を訴えた。県は地域外交室を設置して平和外交に努めている。

私たち支部協は楽しく日常生活、平和を希求して、軍事強化に断固反対し、力強く活動していく決意で頑張っていきたい。

で2兆5500億円の膨大な工事費と言われる。90メートルを超すマヨネーズ状の軟弱地盤は工事が無理と指摘され、県民の72%が建設反対である。最高裁判所は県の埋立反対の主張を自公政権の意に

発行所
NTT労組退職者の会
沖縄県支部協議会
沖縄県浦添市城間4-35-1
NTT城間ビル7F
TEL.098-870-7101
FAX.098-875-7450
責任者
会長 渡嘉敷直久

投稿

夫婦で佐多岬（鹿児島）から宗谷岬へ、
日本縦断。

勝連 千鶴子

ついに宗谷岬にキター！

旅の19日目、ついに宗谷岬に到達。夫は43年前の懐周をしており、今回は夫婦で鹿児島から北海道の宗谷岬を目指す。ノープランで気ままなマイカーでの旅である。

5月中旬、佐多岬から九州を縦断し本州は主に日本海側を北上、「秘湯の宝庫」東北では源泉かけ流しの温泉を満喫。人生初の混浴デビューし屈託のなお裸の交流もまた楽しからずや。

下北半島の大間岬から函館最終地点の苦小牧まで全行程の走行距離は5,726km。その後フェリーで東京へ向かった。

約1か月間34か所の温泉を堪能し、行く先々では沖縄ナンバーに引き寄せられた人々

ロジー（高齢化社会工学）を必要としている。高齢者はもはや少數派ではなく多數派主流だ。積極的に社会参画させ生かしきる社会システムの制度設計が急務である。中国を中心としたアジアダイナミズム激流の中で翻弄されても埋没しないレジリエンスつまり心の耐久力、回復力が必要だ、タフであれ！時代はまだ我々を必要としている。

嵐の夜に 金城 幸男

とのおしゃべりが弾んだ。解放感溢れた非日常を心ゆくまで楽しんだ旅となつた。

旅の19日目、ついに宗谷岬に到達。夫は43年前の懐周をしており、今回は夫婦で鹿児島から北海道の宗谷岬を目指す。ノープランで気ままなマイカーでの旅である。

5月中旬、佐多岬から九州を縦断し本州は主に日本海側を北上、「秘湯の宝庫」東北では源泉かけ流しの温泉を満喫。人生初の混浴デビューし屈託のなお裸の交流もまた楽しからずや。

下北半島の大間岬から函館最終地点の苦小牧まで全行程の走行距離は5,726km。その後フェリーで東京へ向かった。

約1か月間34か所の温泉を堪能し、行く先々では沖縄ナンバーに引き寄せられた人々

ロジー（高齢化社会工学）を必要としている。高齢者はもはや少數派ではなく多數派主流だ。積極的に社会参画させ生かしきる社会システムの制度設計が急務である。中国を中心としたアジアダイナミズム激流の中で翻弄されても埋没しないレジリエンスつまり心の耐久力、回復力が必要だ、タフであれ！時代はまだ我々を必要としている。

傾向は今後も加速し、将来的には人口の4割が65歳以上で有権者人口の5~6割が高齢者となる可能性も出てきた。悠々自適のシルバーデモクラシーの行方も危うくなつた。急激な成熟化を衰亡に

予期せぬ事態は夜中にきた。深夜台風6号が最接近した時だ。風雨が強く雨戸をしてあるのに雨が漏れ出してきた、TVとビデオが置いてある部屋の半分近くが水浸しになつた。深夜から夫婦で新聞紙をひいたりバケツを置いたり、雑巾で浸水した水を拭いたり



取る。そのうち停電になつた、
真っ暗身になつた。(アギジャ
ビヨウだ)

ケンギーぬ
アンヤタン
かんやたん



知花賢宜

現在、衛星ロケットなんか
い名付くんねうし 台風一
号・二号・三号んりち 口
ボット風似く 名字んかい似
ちよんねうさん。
女名字やれゝ 優さぬ柔つ
てん小そいびしが、口
ケツト一号・二号んでいゝね
く硬さぬ 強さぎさうそい
びくん。 うり、「台風6号の
鶴(チルー)」は「」んりち
玉津・於戸・呉勢・蒲戸・
加那・万寿・真加 んでいる
沖ぬ 女名字名付くね
うぬ台風ん柔穏柔穏とう な

聞ける。ご飯が食べられる
帰^かりてい着^き、直^すぐ ラジ
オんかい電池入^{いれ}つてい 最初^{はじ}
良^いく鳴^なびと^ういひくたし
が、少^{すこ}小^さ しから うつ止^とま
ていまた鳴^なびてい 又^{また} うつ
止^とまて^い なあ^い 使用^かく
らん。台風^{だいふう}ぬ最中^{さいちゆう}、電氣屋^{でんきや}
んかいラジカセ買^いいが 又^{また}
んブルナイそ^ういびくん。
ラジオんりせ^う日頃^{ひご}や
車^{くるま}運転^{うんてん}ちよ^ういにしか 聞^き
ええ^う見^みじやびらんしが、
電灯^{でんとう}や点灯^{てんとう}かとお^うていん
薄暗^{はくあん}さる中^{なか} 音楽^{おんがく}ん アナウ

びうたん。 猫が毒持つちょ
りんりせう 聞ちよいいびう
てく事 血 出じやちよい
びうん。 後ねう黒血なとくい
びうたん。
夕飯食でい 少小しから
右腕までい 痛でいちよい
びうたん。 揉でいん揉でいん
変わらん 痛でい 夜中、
○○会病院（救急）んかい
搬送てい連かつといびう
ん。 年齢えう二十五・六な
いるはじ、ラグビーそくたん
でいる青年医者が咬まつたる
指んかい 三四回・四回
麻酔

たん。 うりから一週間後、白内障ぬ手術そゝいびくん。
洗髪たい 入浴みたい 自分自身おうないびらん(ドクターの指示です) 始末な物やいびくん。 暑さる真夏に手術せゝあいびらん。 手術ぬ明日 眼帯外んち後、妻ぬ顔 チラツト見ゝちよ
いびくん。
「今までい 分からんたしが細きく小 老斑が 多つさあてゝる!」
「あい! 君や 今 良く見ゆ

※参考「神マガジンハウス社の美しい日本の旧暦二十四節氣・七十二候」

「新選の御用代」

とは、一年で一番暑い季節をいう。今年は7月23日より8月7日まで

注釈② 立秋（暦の上で秋の始まり。残暑見舞いを送る時季。今年は8月8日より8月22日）

注釈③ ワジヤンカ（苦虫をかみつぶしたようなさま）

注釈④ はてい（果て。終わり。「果てのない・終わりのないほど忙しい」で大変と訳す）

注釈⑤ 大事（大変なこと。おごとになる）

注釈⑥ 聞ちぐとう（聞いて楽しく価値あるもの）

注釈⑦ 始末物（面倒なこと。困ったこと）

「会員の訃報について」
謹んでご報告し、故人の
ご冥福をお祈りいたします
玉城 米子 86歳
那覇市 5月13日